

## 《めざせ！日本一のブルーベリー農園プロジェクト》

市町村	鶴岡市	対象地域	羽黒地域	分野	農林水産物の加工(園芸)
実施主体名	鈴木農園	代表者氏名	鈴木 繁 和	住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	鶴岡市
実施主体構成	個人				

プロジェクト 目標(5年後)	産出額(増加額)	24,000千円(12,000千円)				
	独自の目標項目	ブルーベリーの栽培面積の拡大(8.0ha)				
各年次目標	現 状	1年目(H21)	2年目(H22)	3年目(H23)	4年目(H24)	最終年(H25)
	産出額	12,000千円	12,000千円	15,000千円	18,000千円	21,000千円
	独自の 目標項目	(栽培面積)6.5ha	6.5ha	6.5ha	7.0ha	7.5ha
プロジェクト 概要	◎実施方針	経営安定の為には、栽培面積の拡大と同時に、周年販売が可能な加工部門を拡充する必要がある。また、摘取り体験は、自ら摘み取るコストがかからないこと、来客者が加工品の購入や生食の注文を出す場合が多いことから、今後、加工部門、観光部門に力を入れていく。				
	○産出額の増大	ブルーベリーの加工品は、取引先からの引き合いはあるものの、既存の加工能力の限界から対応できない状況にある。第一段階として、平成21年度は、加工施設を整備し、販売額の増を図る。また、観光農園でのお客様の滞在時間を長くし、客単価の向上を図るため、将来的に、園内に交流・体験のための施設を設置し、その効果を生産振興に反映させていく。				
	○雇用の創出	平成25年雇用人数 2名/日 (加工業務従事のほか農園での摘取作業等含む)				
	○創意工夫	ブルーベリーの栽培に取り組み30年。ブルーベリーを観光資源として捉え、グリーン・ツーリズムの分野も手掛けてきた。その間、全国のブルーベリー栽培者とのネットワークも構築し、ブルーベリーに関するノウハウの蓄積を図ってきた。その財産を有効に活用していく。				
	○実現性	取引先からの加工品へ引き合いが強く、また、園を訪れる観光客からも、加工品に対するニーズは高い。従来対応しきれなかったことから、今後、収益の増加が見込まれる。これにより経営の拡大安定化を図り、将来的な交流・体験施設の整備野実現に繋げたい。				
	○地域への波及効果	観光農園への来訪者は年間6,000名を超える。地域の魅力の一つとして、他の資源と連携し、来訪者の回遊性を高めることで地域に貢献できる。				
○その他	地域のブルーベリー栽培農家、これからブルーベリーを栽培したいと考える若者のモデルとなるとともに、将来的には、他のブルーベリー生産者の生産から加工、販売に関する指導、助言も行っていきたい。					

事業内容	実施年度(平成21年度)	実施年度(平成23年度)
	①加工施設の増改築、②搾汁機械の導入	①交流・加工体験施設の設置